



# 進まなん

学校だより

新発田市立七葉中学校  
新発田市上館乙84番2  
電話 0254-22-3524  
令和2年9月29日 第18号

今年度はじめての部活動運動部の大会が行われます。その大会は、1・2年生の市内新人大会です。生徒会主催の選手激励会が行われ、3年生全員が、後輩たちへエールを送りました。激励会で、新人大会に臨む意味についてみんなで考えました。

## 市内新人大会激励会 校長 1・2年生へ激励の話 「受け継ぐもの、そして、超えるもの」 校長 野澤 一吉

みなさんは、3年生が、どんな思いで自分たちのことを応援していると思いますか。

3年生は、大会やコンクールがなくなり、部活動で培った様々な力を発揮、表現する場がなくなりました。それでも、部活動の目的を見失わず、引退する最後の日まで仲間と共に部活動を続けました。それには理由があります。

その一つ、自分が選んだ部活動を納得するまで続けること。

自分の意志で選んだことを、自分の意志で終える時期を決めたい。

その一つ、自分にとっての部活動の目的を成し遂げること。

試合に勝つことを目標としてきた部活動本来の目的を果たしたい。

その一つ、部の活動や目標を、来年度以降に託すこと。

後輩たちに、自分たちの思いを伝えたい。

3年生は、少なくとも、この3つを胸に秘めて部活動を「引退式」まで続けました。私は、この姿が、七葉中学校の部活動に臨む基本となる姿と考えています。1・2年生は、これらの姿を引き継いでもらいたいです。

そして、もう一つ、部活動を通して考えてほしいことがあります。それは、「未来」をつくることです。どんな未来かは、正直誰も想像もつきません。漠然と言えることは、**今の部活動よりも、今の自分よりも成長した姿を目指す**ということです。先輩たちが、なぜ、みなさんに部活動でいろいろなことを教えたのか。それは、自分たちに迫り着き、追い越せという願いです。

今の世界を時間軸で見ると、「過去—現在—未来」があります。さらに、私たちの世界を人で見ると、「自分と他人(仲間)」が存在します。これらの中で、自分の力で確実に変えられるのは、「未来」と「自分」です。だから、私たちは、時の節目が訪れたときに、新たな目標を掲げます。市内新人大会という節目に、自分の目標を掲げ、過去の自分を超えること、先輩たちに少しでも近づく機会をつかむのです。1・2年生のみなさんは、開催される新人大会で、七葉中の部活動の意義を受け継ぎ、新しい未来をつくる絶好の機会を得るのです。

自分からは、まだ遠くに確かに見える、先輩と新しい自分の姿を見据えて臨むのです。

※ 昨年度から引き継がれた各部のはちまきに、新しい文字「克」が刻み込まれました。

この文字は、応援団長 猿子 馨さんの、「勝利を目指して、どんな場面でも気持ちが折れず前に進んでほしい」という思いが込められています。

**克 七葉中 信**